

- 秋田県では、人口減少に伴い、住宅着工戸数は減少していく見込みであり、住宅以外の建築物への木材利用を促進する必要がある。
- このため、非住宅建築物への木材利用の意識醸成や建築主へ木造・木質化を提案できる建築士等の人材育成の取組を実施。

□ 事業内容

木造・木質化に取り組む建築人材の育成

- ・ 建築士等が木質材料や構造等を学ぶ「あきた木造建築塾」を開催
- ・ 建築士等をサポートする技術アドバイザーの派遣
- ・ 建築を学ぶ学生を対象に木材利用提案コンクールを開催
- ・ 県内の非住宅建築物を対象に木造・木質化建築賞を開催

【事業費】 4, 527千円（全額譲与税）

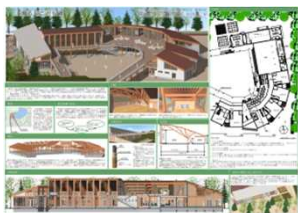
【実績】 あきた木造建築塾 開講5回（参加人数 延べ144人）
 アドバイザー派遣 派遣1回
 木材利用提案コンクール 応募数14点
 木造・木質化建築賞 応募数 5点

□ 取組の背景

- ・ 非住宅建築物を木造・木質化するには、普及啓発とともに建築士等の木材に関する知識や技術の習得が必要
- ・ 建築士等が、木材利用について相談できる体制整備が必要
- ・ 将来にわたり積極的に木材利用を推進する人材育成が必要



（あきた木造建築塾）



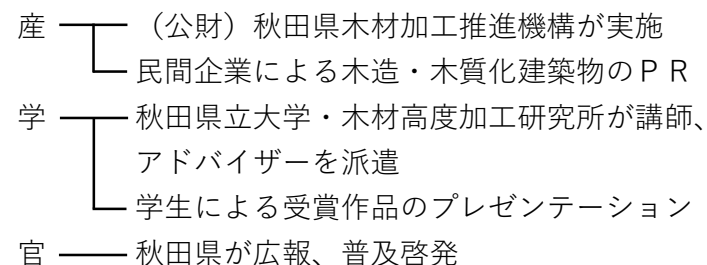
（木材利用提案コンクール）



（木造・木質化建築賞）

□ 工夫・留意した点

- ・ 産学官が連携し、取組を推進



□ 取組の効果

- ・ 毎年、あきた木造建築塾を職員に受講させる民間企業及び市町村があり、木材利用への意識醸成が図られている。
- ・ あきた木造建築塾受講者が設計を手がけた施設が、県が実施している木造・木質化建築賞を受賞するなど、優良な建築実績が出ている。
- ・ 木材利用提案コンクールは、学生の木材利用に関する企画立案だけでなく提案力向上の好機となっている。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：147,276千円	②私有林人工林面積（※1）：176,572ha
③人口（※2）：959,502人	④林業就業者数（※2）：2,235人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より